

北陸新幹線の整備促進について

北信越部会提出
説明担当 小浜市

北陸新幹線は、高速交通体系の中軸として国土の均衡ある発展に必要不可欠なものであり、本県だけでなく沿線地域の活性化や持続可能な地域発展に向けた地方創生に大きく寄与することが期待されます。

さらには、大規模災害時における東海道新幹線の代替補完機能を果たすことから、災害に強い強靱な国土づくりに大きく資するものであります。

金沢－敦賀間については、平成34年度末までの開業に向け、関係機関との連携を強化し、着実に事業を推進していくとともに、敦賀以西については、大阪までの全線フル規格による早期整備が求められます。

つきましては、下記の事項について強く要望します。

記

- 1 平成34年度末までの敦賀開業が確実に実現するよう、新幹線駅等の整備に必要な予算の確保を含め、着実に事業を推進すること。
- 2 敦賀以西については、与党整備新幹線建設促進プロジェクトチームにおいて決定された小浜・京都ルートを早期に整備し、大阪までのフル規格による全線開業を実現すること。
- 3 並行在来線の経営分離後の安定的な経営の維持及び利便性の向上が図れるよう積極的な財政支援を行うとともに、沿線自治体に過度の負担が生じないよう適切な措置を講じること。